



「生駒市立病院のこれからを考える」ワークショップ ～第二回～

2024年10月05日
株式会社ワーク・ライフバランス

「私の生駒市内のおすすめスポット、好きなお店」を一人30秒でシェアしましょう。

～わかりやすい伝え方「PREP法」～

この順番で話すことでわかりやすく相手に物事を伝えることができます。

POINT	= ポイント、結論
REASON	= 理由
EXAMPLE	= 事例、具体例
POINT	= ポイント、結論を繰り返す

例：私は△△町にあるレストラン〇〇が好きです。
誕生日にいくと、ケーキのサービスがあり、
店員さんがバースデーソングを歌ってくれる
んです。
この前、家族の誕生会で利用したら家族が喜
んでくれました。
それで、レストラン〇〇がおすすめなんです。

本日の流れ

- 1回目の振り返り:

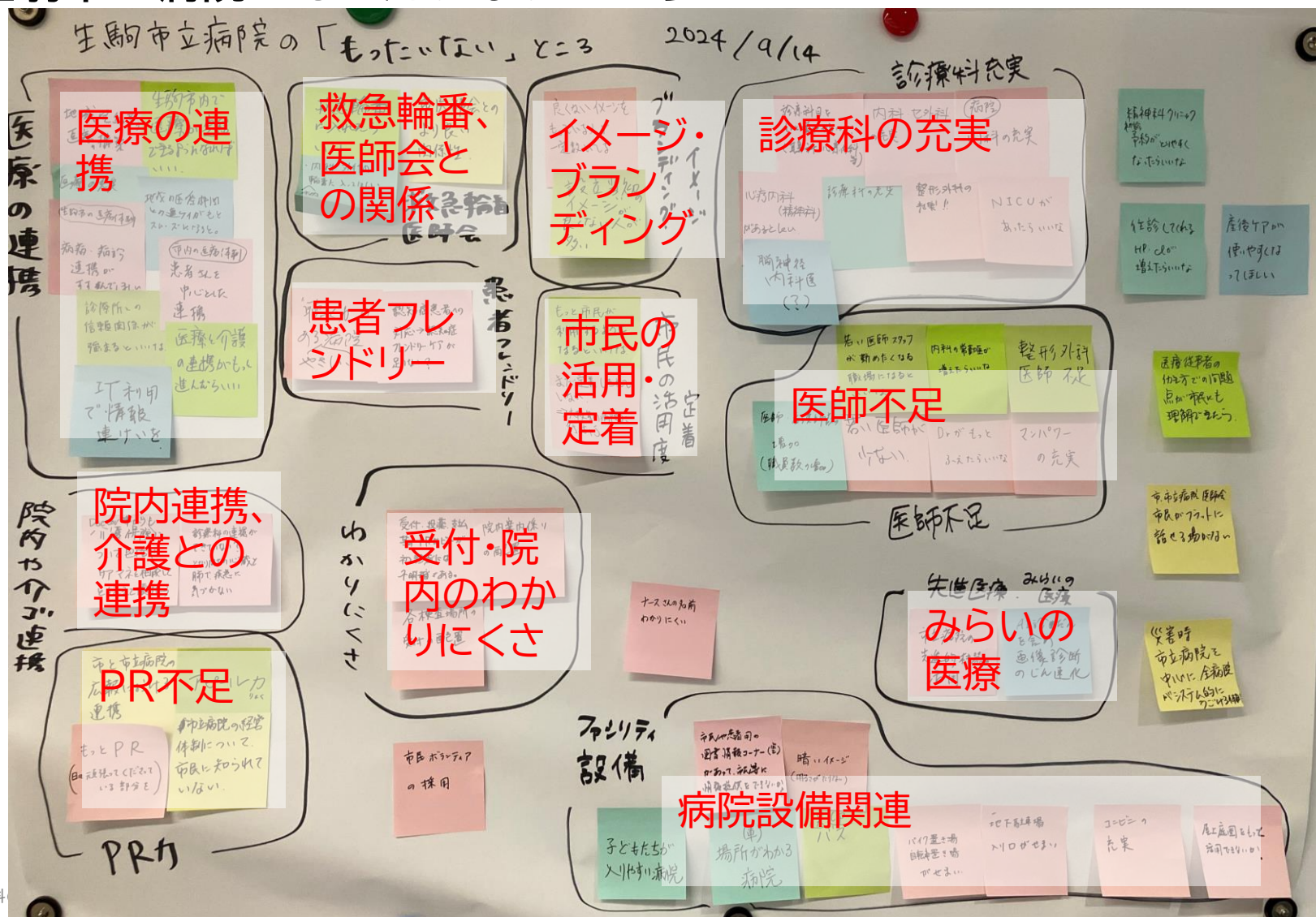
市民の考える「生駒市立病院のありたい姿」の確認・決定

- 調査した情報などのシェア
- 各テーマに関する現状把握
- 課題抽出と解決策のディスカッション
- 全体での共有
- まとめ

生駒市立病院のよいところ



生駒市立病院のもったいないところ



生駒市立病院の「ありたい姿」を考える

生駒市立病院のよいところ

駅近く、利便性がよい

24時間、365日受け入れ

地域との連携

新しくキレイ

デザインがよい

災害に強い

信頼・存在感

清潔感がある

産科・小児科が充実

コロナ対応

医師・看護師・スタッフが親切

生駒市立病院のもったいないところ

医療の連携

患者フレンドリー

市民の活用・定着

診療科の充実

救急輪番、医師会との関係

医師不足

院内連携、介護との連携

受付・院内のわかりにくさ

みらいの医療

PR不足

イメージ・ブランディング

病院設備関連

生駒市立病院の「ありたい姿」 素案

駅近く、利便性がよい

24時間、365日受け入れ

信頼・存在感

コロナ対応

利便性がよく いつでも受け入れてくれる頼れる存在。

デザインがよい

PR不足

イメージ・ブランディング

新しくてキレイ

受付・院内のわかりにくさ

病院設備関連

清潔感がある

患者フレンドリー

市民の活用・定着

きれいで

使いやすく、

災害に強い

医師・看護師・スタッフが親切

災害につよく、みな親切。

医師不足

診療科の充実

産科・小児科が充実

医師不足が解消され、診療科がさらに充実し、

院内連携、介護との連携

救急輪番、医師会との関係

地域との連携

医療の連携

みらいの医療

地域との連携が図れ、未来の医療を提供できる病院。

生駒市立病院の「ありたい姿」 素案

市民が誇り・やりがいをもって市民が創る市立病院

- ①市民みんなにとって利便性がよく、いつでも受け入れてくれ頼れる
- ②きれいで患者フレンドリー、災害に強い
- ③医師不足が解消され、診療科がさらに充実し、病院の情報がより発信されることにより、地域との連携が図れる。
- ④1人1人が安心安全が実感できる患者中心としたタッグを組んで、時代にあった質の高いチーム医療を提供できる。

課題の整理

生駒市立病院のもったいないところ

シンポジウムで出たテーマ

テーマ1

患者フレンドリー

受付・院内のわかりにくさ

病院設備関連

PR不足

イメージ・ブランディング

市民の活用・定着

テーマ2

医療の連携

救急輪番、医師会との関係

医師不足

救急医療

災害時医療

テーマ3

院内連携、介護との連携

在宅医療

テーマ4

診療科の充実

産科医療、小児科医療

全体

みらいの医療

みらいの新たな医療機能

課題の整理

生駒市立病院のもったいないところ

シンポジウムで出たテーマ

テーマ1

患者フレンドリー

受付・院内のわかりにくさ

病院設備関連

PR不足

イメージ・ブランディング

市民の活用・定着

A

テーマ2

医療の連携

救急輪番、医師会との関係

医師不足

救急医療

災害時医療

B

テーマ3

院内連携、介護との連携

在宅医療

C

テーマ4

診療科の充実

産科医療、小児科医療

D

全体

みらいの医療

みらいの新たな医療機能



ワークシヨップ

私たち市民もこれなら
協力できそう！



こんな病院なら
働きたい！



WORKSHOP

一緒に考えよう
これからの生駒市立病院

ワークショップ
参加者募集

開院
10周年
特別企画

救急医療で私た
ちにできること
はないかな？



市民・医療/福祉関係者
みんなで「生駒市立病院のこれから」
を考えませんか。

プロのファシリテーターから
学びながら、ディスカッションします

【会場】生駒市立病院7階

講堂・交流センター

(生駒市東生駒1丁目6-2)

これからの未来を担う生駒市民・子育て世代の方や
学生の方大歓迎です

できるだけ4回連続でのご参加をお願いします。

問い合わせ先:生駒市地域医療課 0743-74-1111 (内線2420)

全4回

1回目：9月14日(土)

14：00～16：00

2回目：10月5日(土)

14：00～16：00

3回目：11月30日(土)

14：00～16：00

4回目：令和7年2月9日(日)

14：00～17：00

▶申込は QR
コードから



ワークショップの流れ

ワークショップ1回目 取組への理解、状況の共有

■ 私たちを取り巻く環境の変化とは？(レクチャー)

・社会的背景 ・医療を取り巻く課題

■ 生駒市立病院のありたい姿・状況の共有(ワークショップ)

「生駒市立病院」のありたい姿の洗い出し・テーマにおける状況をKJ法などのフレームワークを用い、共有する

■ 目指す到達点

「生駒市立病院」のありたい姿が参加者間で共有ができ、各立場から見た状況が共有されて、情報量が一定になること

ワークショップ2回目 課題の洗い出し

■ 課題の洗い出し

心理的安全性高く、議論ができる環境で、テーマに沿ってありたい姿と現状のギャップに着目し、課題を洗い出す

■ 目指す到達点

現在の課題について洗い出し、要因分析し、第3回目に向け、解決策の議論ができる状態になること

ワークショップ3回目 解決策のディスカッション

■ 解決策のディスカッション

ロジックツリー等のフレームワークを用い、解決策を議論する

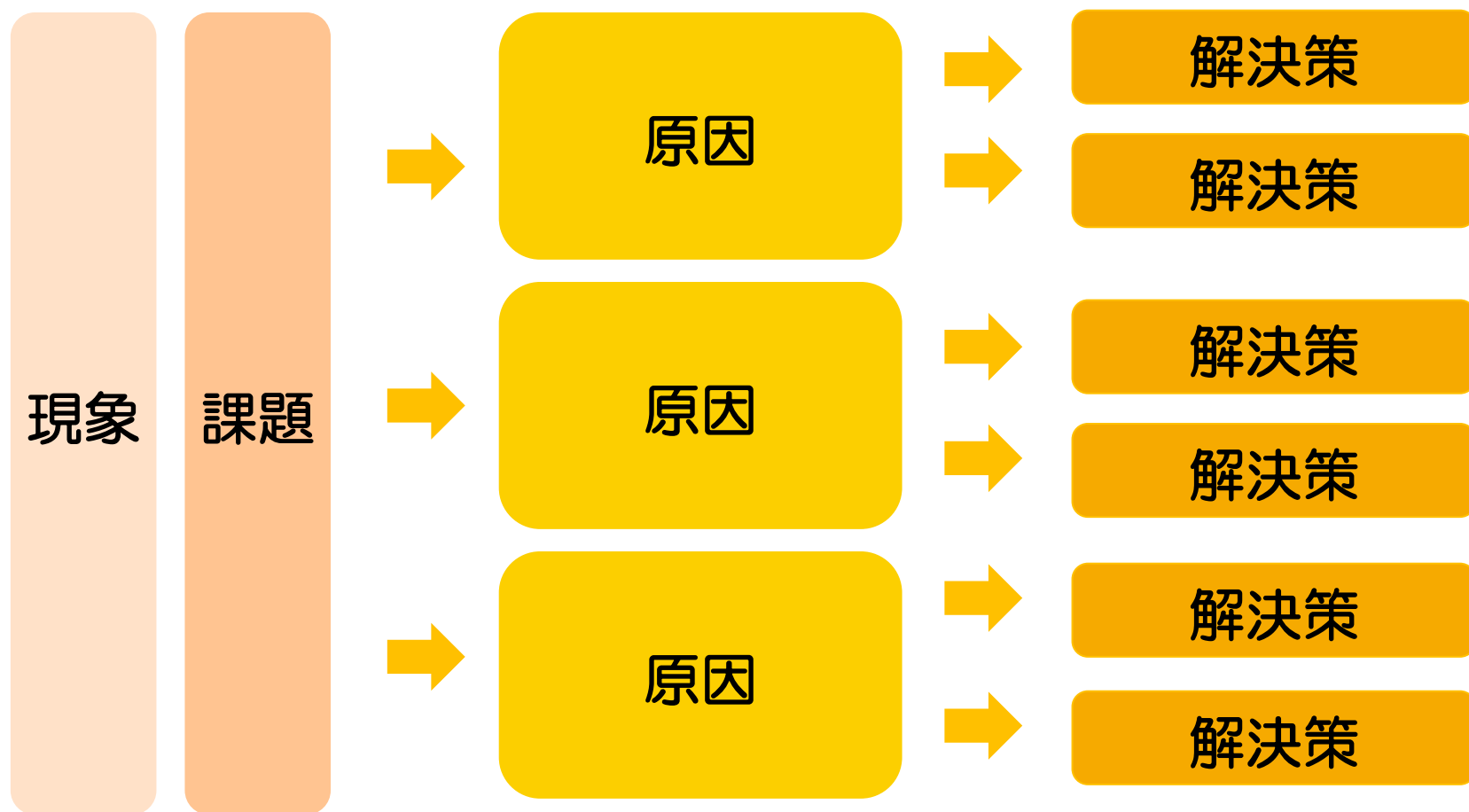
■ 目指す到達点

多様な参加者が様々な視点から解決策についてディスカッションし、提案をまとめる

まとめ会

参加市民および医療従事者がディスカッションについて導き出した解決策について提案としてまとめ、発表する
広く公開することで、取り組みを関係者以外にも周知する

【参考】課題の解決法を考えるための枠組み



解決策から考えるのではなく、起きている現象から課題を抽出し、考えられる原因は全て洗い出す。解決策は柔軟な発想でとにかく量を増やす。その上で、優先順位をつけて、アクションを決定する

テーマ1

患者フレンドリー

受付・院内のわかりにくさ

PR不足

イメージ・ブランディング

市民の活用・定着

現象

受付・院内が
わかりにくい

課題

検査に行く
際どこに行
けばよいか
わからない

1Fロビーが
初診者に
わかりづら
い

原因

動線がわかりづらい

次にどこに行くかが
示されていない

看板がない

案内の文字が小さい

解決策

MAPを配布する

床に動線を示す

案内のボランティア

病院

病院

市民

市民

市民ができること

病院

病院がやるべきこと

行政

国や行政で変える必要があること

グラウンドルール

1. 相手の意見を傾聴し、反応を示す
(うなづく・相槌)
2. 端的に かつ わかりやすく伝える
3. 話始めるのは、一旦すべてのアイデアを共有し終わってから

多様な参加者が様々な視点から解決策について
ディスカッションできるように
協力しましょう！

役割

- **進行役**
時間内に目的を果たせるために
全体の議論を進行し、発言を参加者に促します
- **記録係**
どのような議論になったのかを後で振り返ることができる
よう、付箋を整理したり、紙に必要な発言内容を書き込み
議論の様子を残します
- **タイムキーパー**
時間内に議論が終わることができるよう、時間配分を相談
したり、時間を図り、全員が時間を意識して議論できるよう
に促します
- **反応リーダー**
自由闊達な議論ができるよう、相槌等を積極的にうち
他のメンバーが話しやすい雰囲気づくりに努めます

今日のゴール

ありたい姿が次の10年で実現できる
よう
ありたい姿と生駒市立病院の
現状のギャップに着目し
課題を洗い出す。

洗い出した課題の要因を分析し、解決
策の方向性を探る

付箋の書き方

- 1枚の付箋には1意見ずつ
- 端的にわかりやすく書く
- 後で共有できるように、人にもわかりやすい文字で書こう

NG

- 生駒市民病院は●●が良く、●●もできていて、いつもとても助かっています。建物もきれいなので、子供と行くときも安心で~~~~~。
- 一方で、●●という点は不便だと感じることもあり、先週例えば、こういうケースがありました。が、~してもらえないということがありました。

OK

●●が良い

●●が良い

●●は不便

- 今後の流れについて
- 宿題
- 感想・気づきの共有